



群私幼PTA連合会

発行人
品川 月郎

事務局 / 〒371-0854 前橋市大渡町1-10-7 県公社総合ビル6階
TEL.027-280-6206 FAX.027-280-6208
(一社)群馬県私立幼稚園・認定こども園協会ホームページアドレス www.gunshiyou.jp



親子でお餅つき



全日本私立幼稚園PTA連合会 第38回PTA全国大会

令和7年2月17日(月)、東京都市ヶ谷で開催された大会に、群P連理事4名と群私幼理事3名が参加しました。



もくじ

- 2 あいさつ 群私幼P連副会長
群私幼協会副会長
- 3 全日私幼P連全国大会
- 4 子育てセミナー
- 5 我が園のPTA活動
- 6 楽しく歩こう
学べるおもちゃ
親子のつづやき
編集後記



時代のうねり

群馬県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会

副会長 田村 友佑



迎春 あいさつ

子育てしやすい社会を目指して

(社)群馬県私立幼稚園・認定こども園協会

経営振興部長 森下 幸夫



令和6年度も残り僅かとなりました。私にとって最高の1年間でした。群私幼の関係者の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

子育てというものは時代と共に進化していくと思っております。私が子どもの頃は、車にカーナビやバックカメラなんてありませんでした。しかし今は、それに加えテレビやDVDを見る事ができ、音楽を聴いたり録音する事も出来ます。

また携帯電話も同じで、私が子どもの頃に普及し始めて色々な機能が使えるようになり、2008年頃からはスマートフォンも登場し現在に至ります。

その他にも、さまざまな物が思い浮かぶと思います。このように全ての「モノ」が進化しています。

子育ての昔からの良き伝統も大切ですが、今の時代を生きる我々が時代の進化に合わせて何かに挑戦していく事も大切です。何か新しい事をしていく人は、最初は失敗もしますし批判をされる事もあるでしょう。最近ではYouTubeにおもしろい動画を観る事ができたり、小学校の授業でタブレットを使ったりするようになりました。きっと誰かが時代に合わせて進化させようとした結果だと思えます。

日頃より群馬県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会の活動にご理解、ご協力を賜りまして誠に有難うございます。連合会での活動はもちろん、各園での保護者会活動を通して園側を支援していただきまして感謝申し上げます。コロナ以降、各園の保護者会活動は縮小されたり、保護者会自体が解散されたりしているのを耳にします。各園でのPTA活動が難しくなったとしても、園と保護者が力を携えて子ども達を支えなければならぬことには変わりありませんので、これからも皆様のご理解とご協力をもって各園を盛り上げていただけることを期待しています。

少子化が進む中、行政が子育て支援

を政策の中心に据えてくださることが増えてきました。大変ありがたいことで、子育て中の保護者に対しての更なる支援を期待しているところです。ところが、この支援制度が市町村によって様々であり、例えば保育料や給食費補助を受けられるかどうか、居住する市町村によって異なるという事態が生じていることを危惧しています。先進的な市町村とそうではないところで大きな格差が生まれないように国全体で対応してもらえないように要請していくことも連合会の役割のひとつになるかもしれません。

今年度は群馬県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会の創立60周年にあ

今後どのように子育てが進化していくかは分かりませんが、「常識」「非常識」や「普通」「普通じゃない」という言葉に左右されず、子育てを全力で楽しんでいければと思います。全てにおいて正解や不正解は、ありませんので。では皆様、今後とも健康で安全に。



たり、記念事業を実施しました。脈々と繋がってきた60年の歴史が、これからの子育て支援へと繋がり、子育てしやすい社会となることを目指して参ります。



第38回全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会

保護者の訴えを政治に

こんにちは！皆さんお久しぶりです、会長の品川です。2月17日(月)、群馬県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会を代表(保護者4名、園長3名)して群馬県選出の国会議員(自民党所属)との懇談会に東京へ行ってきました。懇談会といいますが、ただ談笑しただけではありません。目的は、我々群馬県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会にて会合を重ね、作成いたしました「要望書」を説明を交えて直接お渡しするためです。今回その「要望書」の中で何を強調すべきか役員一同で話し合っています、以下の2点を特に強調して伝えてまいりました。

まず一つ目は「保護者負担軽減」という点です。私には現在5才と3才の娘が居りますが、養育には大変なお金がかかると実感しております。できれば、何か特技を伸ばしてやりたくて習い事やスポーツをさせたいが出来ない。そういった家庭の方もいらっしゃるのではないのでしょうか？金銭的余裕があれば、子どもに何かチャンスを与えてあげられるかもしれません。家族で旅行や食事など、団らんの時間を増やせるかもしれません。

二つ目は「教職員の待遇の改善」という点です。私達が子どもを預けている間、園の先生方が子ども達を教育・保育してくれていますが、いつも感謝しております。しかし、そういった教職員の方々の勤務に対する福利厚生

や給与は決して良くなく、むしろほかの職種と比べまして低い状況にあります。ためらわずに言いますが金銭的余裕は精神的余裕に直結いたします。それは我々保護者も先生方も変わりありません。どちらにも心の余裕を作ることであれば、きつと私達は子ども達にもっといろんなチャンスを与えてあげられるはずだと、私は確信しております。

以上が強調した2点であります。そして、こういったことを実現するには法律等新たな「仕組み」が必要で、「仕組み」を作ったり議論をするのが



地域を代表する議員の方々でありますからそこに直接訴えようというわけです。政治を持つとして「仕組み」を作ってもらう為に、我々PTAの重要な役目として議員の皆様を通じて、保護者の要望を直接政治につなげるということを実施してまいりました。今後も我々は「保護者の要望を直接政治に」ということを意識して活動していきます。どうか皆様応援よろしくお願いいたします。

(まぎの子幼稚園 品川 月郎)

全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会式典と記念講演

第38回全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会に参加しました。

「こどもがまんなか、良質な幼児教育をすべての子どもに」がテーマです。

大会では、文部科学副大臣の武部さん、自由民主党の幼児教育議員連盟会長で群馬県選出の中曽根弘文さんなど多数の国会議員の方の祝辞の後に、次の事が宣言されました。

「私たちは、次代を担う子ども達の心豊かな人間としての成長や幸福を願い、常に子どもがまんなかの視点から、家庭教育の向上、すべての子どもが良質な幼児教育を受けられることができる社会を目指して、子どもたちがはじめて出会う学校である私立幼稚園・認定こども園とともに努力する事を宣言します。」

祝辞の中で、参議院議員の山谷えり子さんの言葉が特に記憶に残りました。とても気持ちの入った内容で、「子育ては恵みである。PTA活動は義務ではなく、楽しい活動であり、その先に子ども笑顔がある。子育ての素晴らしさをこれから親になる世代に伝えてほしい。」とおっしゃられて、子どもの笑顔はもちろんだが、自分達も笑顔で子育てする事が次世代へのバトンをしっかり和渡すポイントだと感じました。

式典閉会後に、近畿大学講師であり、狂言師の茂山千三郎さんの記念公演がありました。「和文化から学ぶ健康と生き方」をテーマに、身体の軸についてのお話です。坐の生活から椅子の生活になった事で、現代人は骨盤底筋が弱くなり、様々な体の不調が増えました。狂言の動作の基本である「丹田」という体の中心を意識して生活する事で、足腰を鍛えて、健康寿命を伸ばして、子どもの将来を笑顔で迎えましょう。と言った興味深い内容でした。

(金山幼稚園 高木 晋太)



子育てセミナー

子育ては「こ機嫌に」！
前橋地区

いずみ幼稚園 武 茉莉

令和6年9月19日に幼児の幸せを考える子育てセミナーが開催されました。

講師として梅崎 一郎さんをお招きし「あたまとこころとからだを整え、今を生き抜く力を育てよう！」をテーマに講演していただきました。

発達のプロミッドを用いて子どもの成長には私達親による協働調整がどれほど大切なのか、また心身のコンディションが遠隔的に伝染するという事をデモンストラーションを通じて体験する事ができました。

子育てで大事なことは親も子ども共に「こ機嫌」でいる事と教えていただきました。簡単そうに難しいですが、これからの子育てに活かしたいと思いました。



合同親子観劇会
安中地区

安中二葉幼稚園 渡邊 美涼

11月1日金曜日に安中市文化センターにおいて、安中市私立幼稚園・認定こども園父母の会連合会主催の合同親子観劇会が開催され、4園の園児と保護者が参加しました。

劇団飛行船さんは「3匹のこぶた」の劇を、鈴木翼さんは子どもと保護者が触れ合って楽しむ手あそびや絵本を読んでもいただきました。どちらの演目も「次に何が始まるんだろう？」とドキドキワクワクする顔や演出を見て、「ニコニコと楽しく笑っている子ども達の心が動く様子がとても印象的でした。歌や劇を通じて親子でお話の世界を共有したり、様々な表現を楽しんだり、同じ話題を共有する楽しい機会になりました。



絵本でSDGs
太田地区

いなり幼稚園 小山 雅史

「絵本でSDGs」を演題に、絵本でSDGs推進協会の代表理事でいらつしやる朝日仁美先生にご講演頂きました。

本講演のテーマである「SDGs」について、私自身これまでは何となく「持続可能な開発目標」とか「17の目標」など言葉は聞いたことがありますが、本質的な部分を理解しておりませんでした。

講演の中で、ご紹介いただいた「いのちのたべもの」という絵本では「海のもの、陸のもの、それぞれ命あるものに感謝して生きる」ということについて、絵本を通じて「SDGs」として学ぶことができました。親子で学ぶきっかけとなる非常に有意義な講演でした。

ワイルドナイツ杯
運動会
大泉地区

えのき幼稚園 橋本 和哉

皆様スポーツ観戦はお好きですか。私はサッカー観戦が趣味で、子どもと一緒に行くこともしばしば。しかも、今後はそこにラグビー観戦も加わりそうです。昨年11月12日、大泉町私立幼稚園・認定こども園PTA連絡協議会の主催により、各園の親睦及び健康作りを目的として、埼玉八幡ノックワイルドナイツの選手・スタッフを招いた保護者による運動会「ワイルドナイツ杯 運動会」が開催されました。

子育てと仕事に追われ、ここ数年運動を全くしていません。当日、体が動き、少し心配をしておりました。しかし、いざ始まってみると、そんな不安も忘れられるくらいに楽しく「楽しい」イベントでした。まず驚くべきは、本物のラグビー選手。抜かれた身体は王者らしく映画に出てくるスーパーマンのようで、ここまで鍛え上げるために日々何をしていたのかが想像し難いと感じました。選手・スタッフの紹介後イベントがスタート。参加者は所属する園に関係なく色で分けて、スタッフの方々が用意してくれた小道具やラグビーボールを使ったルールは簡単ながらチームワークが大切な競技を4つほど行いました。なんと、選手の方々も各チームに参加。プロのラグビー選手からラグビーボールのパスを受けるなんて、感動と緊張でドキドキが止まらず、イベント終盤には選手によるプロの技と質問タイム。美しく飛んで行くパス。迫力のあるリフト。質問ではラグビー選手になるきっかけや苦勞などを聞け、普通だったらわからないような体験をさせて頂きました。この感動を胸に、次は子どもと試合観戦して応援したいと思えます。皆様もスタジアムで感動を体験してみたいかがでしょうか。



大切な人を守るために
～包括的性教育の重要性～
高崎地区

すみれ幼稚園 岡野 美寿々

藤野彩子さんのオンラインセミナー「幼児期にこそ伝えたい包括的性教育」を受講し、特に印象に残ったのは、幼児期からの性教育が、子ども達の自己肯定感や人間関係の構築にどれほど寄与するかどうかという点です。藤野さんは、子ども達が自分の体を大切に、他者との境界を理解することが、将来的なトラブルを未然に防ぐために不可欠であると説明されていました。また、家庭でできる具体的な性教育の導入として、年齢に応じた絵本の紹介や、適切な情報の伝え方についても学びました。子ども達から質問がきた時に、子どもが理解しやすい言葉で、どのように答えるのがおすすですか、また、どのようにして安心して話せる環境を作るかについてのアドバイスは実践的で非常に参考になりました。藤野さんが普段幼児向け講座で使用している「いのちのはじまり」という二分間の動画は、かわいいういらすとわたりやすい言葉でまとめられていて、とても温かい気持ちになりました。

私にはら才の幼児の他に、思春期真っ盛りの子ともいます。もっと早くこのセミナーに出会いたかったです。子ども達が健やかに成長し、自分や大切な人を守るように、私自身も学び続けていきたいです。藤野さんの勇気と活動に感謝し、今後もこのような機会を大切にしていきたいと感じました。

我が園のPTA活動

保護者が参加する 「参加型保育」

山王幼稚園 町田 優子

山王幼稚園では毎年、保護者がお母さん先生、お父さん先生となりクラス保育に参加する参加型保育を行っています。参加型保育とは、保育者の視点で子どもと関わり、山王幼稚園が大切にしていることを理解してもらい、家庭と連携してより良い保育を共に作っていくこと、子どもへの関わり方を知ってもらうことを目的としています。

普段の保育参観と違い、先生として参加できるこの行事は、我が子だけでなく、我が子のクラスのお友達ともたくさん



ん接することができると、毎年とても楽しみにしています。園で子ども達に会うと、「今日は誰のお母さん先生が来るの?」「お父さん先生に抱っこしてもらおうんだ!」と、興味津々で話してくれ、キラキラした瞳を見るととても嬉しくなります。参加した日は楽器遊びで遊びました。初めて使ったトライアングルを持って、最初は緊張していましたが、次第に楽しく演奏できるようになり、鈴とカスターネットと一緒に音を合わせ、楽しく演奏することが出来ました。子ども達はもちろん、保護者もとても大切な思い出の1日になりました。



皆で楽しむ 夏まつり

さわらび幼稚園 石田 智幸

さわらび幼稚園では今年も夏まつりを行いました。例年通り園庭で行う予定でしたが当日は雨が降ったので急遽園舎内で行うことになりました。何年振りかの園舎内の夏まつりということでしたが、みんな臨機応変に対応し園舎内をかざりつけ、雰囲気高めることができました。



子ども達は浴衣や甚平で参加する子も多く、盆踊りやヨーヨー釣りやお手玉投げゲーム、くじ引きなどのゲームを楽しみました。最後は先生とPTA役員で花火を上げて締めくくりました。

年に一回の大イベントとなる夏まつりで親子での素敵な夏の思い出が、また一つ増えたのではないかと思います。おうちの方々や卒園生、地域の方々にも一緒にお祭りを楽しんで頂けて、本当に良かったです。様々なあたたいご協力をありがとうございました。でも来年は晴れることを祈っています。



楽しく歩く

親子のG-WALK+

子どもが産まれてから全く運動をしなくなっていました。先に始めていた主人と義母のすすめで「G-WALK+(日々の健康づくりをサポートする群馬県公式アプリ)」をすくにも登録してみよう。

設定した目標歩数を達成するとポイントが貰えたり、私の住む富岡市では一定の期間で設けられた目標を達成すると抽選でプレゼントが当たるイベントもあり、俄然やる気に。平日の子ども達の送り迎えをできる限り徒歩で行き、休日の朝は「お散歩に行こう」と声をかけると子ども達も大喜びでパッと起き、歩き出すとすべし「今何歩??」と興味津々。途中で虫を捕まえたり、帰りにパン屋さんに寄って帰ればまるで一日中お出掛けしてきたかのよつな充実感！みなさんも家族の健康維持とふれあいにG-WALK+を取り入れてみてはいかがでしょうか。

(なのかいちこども園 北村 まい)



学べるおもちゃ



子育てを行う上で、子どもの知能や能力を育てたいと考える親御さんはとても多いのではないかと思えます。

口頃、幼稚園や保育園でも知育遊びができると思いますよね。我が家では、指先の発達と想像力が育めるおもちゃが大活躍しています。



細通しで手や指先の発達を促したり、集中力を身に付けます。更にこのおもちゃは積み木として遊ぶこともできるのです。我が家では市販のものを使用していますが、ホームセンターの廃材などでお子様と一緒にDIYするのもオススメです。

是非お試しください。

(元総社幼稚園 長岡 友美)

親子のしぐさ

1つに幼稚園 腰塚 知巳

我が家の第四子の三男が、この春ついに小学生になります。みんなに可愛がられ、甘えん坊に育っていましたが、年長組になると、朝、幼稚園に着く時には

「自分の物は自分で持つから。」

と、ピシッと決めて歩き出します。

あんなに嫌いだっただ歯医者も、ついでに

「一人でできるから、待合室で待つて良いよ。」

と。小学生になる為には、先生の話をきちんと聞くこと。自分で出来る事は、なるべく自分ですること。小学校入学前に、歯の治療を終わらせること。すっと伝えてきた事がきちんと伝わっているんだな、と実感しました。小学生に向け、本人の気持ちも次のステップへ進んでいるようです。お世話になった幼稚園を卒園するのは寂しいですが、どんな小学生になるのか、この春が待ち遠しいです。



編集後記

今年度最後の群私幼PTA連合会広報誌第84号をお届けします。

今年度も1年が終わり、春を迎えようとしています。季節の変わり目といつもの体調を崩しやすいものです。皆様の体調はいかがでしょうか。

今冬はインフルエンザの感染者数が統計開始以来最多となるほど流行しているというニュースを目にしました。コロナ禍は過去のものとなりましたが、感染症は毎年やってくるものです。皆様はあの時の対策を覚えているでしょうか。今一度あの頃を思い出し、マスクやこまめな手洗い、消毒などで感染拡大を防ぎましょう。

また、当連合会ではより多くの方に本誌をご覧いただくために、紙面だけでなく電子データでの配信も同時に行うことになりました。前号でもお伝えしましたが、本誌のバックナンバーもアーカイブ化しております。子育てに役立つ情報が多く掲載されていますので、気になる方はバックナンバーも併せて是非ご覧ください。

最後になりますが、今年度も紙面作成にご協力頂きました各園の園長先生をはじめ、広報委員の皆様、事務局の皆様には深く感謝申し上げます。あしがたのびやうまつた。

(なのかいちこども園 春日 洋紀)